

Meiji
GAKUIN
UNIVERSITY



明治学院大学

マスコミ関係各位

2015年10月29日

明治学院大学 教養教育センター主催 公開講演会
「ことばを問う－言語存在論が照らす、生きるための言語」
「ハンゲル－進撃の知」

11月13日(金)、12月11日(金)開催 ※参加無料・事前申込み不要

明治学院大学教養教育センターでは、公開講演会「ことばを問う－言語存在論が照らす、生きるための言語」と「ハンゲル－進撃の知」を11月13日、12月11日に開催します。

本講演会では、今日の日本語圏、韓国語＝朝鮮語圏にわたり、その思考と問いが大きな共感を呼んでいる言語学者の野間秀樹氏(本学客員教授)を講師に迎え、現在に生きる私たちにとって、ことばとは何か、そしてハンゲルという文字の成り立ちと発展をひも解きながら、そこから学ぶことは何かを来場者とともに考えてゆきます。

第1回講演「ことばを問う－言語存在論が照らす、生きるための言語」では、私たちが生きる中で重要な位置を占めていることばが行われる<言語場>が、いま劇的な変容のただなかにあること、そして政治や文化、報道や出版、メールやSNS、言語教育や言語学習に至るまで、あらゆる<言語場>において、私たちがいかにことばを見据えなくてはならないか、言語の原理論から語ります。

第2回講演「ハンゲル－進撃の知」では、ハンゲルという文字がいかに誕生し発展したのか、仮名や漢字、ローマ字などの文字が人の世に生まれるとはどういうことなのか、文字は人が生きる深いところに係わっており、知を共にする原理を形造るものであることを、言語をめぐる普遍的な視座から照らします。

ぜひ事前告知ならびに当日取材をご検討ください。どうぞよろしく願いいたします。

- 日 時 : 11月13日(金)、12月11日(金) 18:30~20:30
- 場 所 : 明治学院大学 白金キャンパス 2号館2階 2302教室
東京都港区白金台1-2-37 ※お車でのご来場はご遠慮ください。
- 申 込 : 不要/参加費無料 ■定 員 : 180名
- 内 容 : 第1回 11月13日(金)「ことばを問う－言語存在論が照らす、生きるための言語」
第2回 12月11日(金)「ハンゲル－進撃の知」
- 講 師 : 野間 秀樹(のま ひでき)氏(明治学院大学 教養教育センター客員教授)
言語学者。著書に『ハンゲルの誕生』(平凡社)、『日本語とハンゲル』(文藝春秋)、『韓国語をいかに学ぶか』(平凡社)、『韓国語 語彙と文法の相関構造』(太学社:ソウル)など、編著書に『韓国語教育論講座全4巻』(くろしお出版)、『韓国語学習講座 凜RIN』(大修館書店)など。
2005年大韓民国文化褒章受章。2010年『ハンゲルの誕生』、第22回アジア・太平洋賞大賞受賞。2012年韓国のハンゲル学会より周時経(チュ・シギョン)学術賞受賞。2014年、編書『韓国・朝鮮の知を読む』(クオン、韓国語版はウィズダムハウス)で第12回パピルス賞受賞。
- 主 催 : 明治学院大学 教養教育センター
- お問い合わせ : 明治学院大学教養教育センター E-mail kkc@gen.meijigakuin.ac.jp

お問い合わせは… 明治学院大学 総合企画室広報課 担当: 染川、田村
 〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37 Tel: 03-5421-5165(直通) Fax: 03-5421-5185
 koho@mguad.meijigakuin.ac.jp http://www.meijigakuin.ac.jp